

木曾三川下流部 広域避難実現プロジェクト

設立趣旨

大規模水害時における犠牲者をゼロにするため、木曾三川下流部沿川の5市町（桑名市、木曾岬町、弥富市、愛西市、海津市）及び中部地方整備局河川部、木曾川下流河川事務所では、平成25年に「木曾三川下流部 高潮・洪水災害広域避難検討会」を設立し、平成27年には、広域避難実現に向け取り組むべき内容等について、「木曾三川下流部 高潮・洪水災害広域避難計画策定に向けたアクションプラン」（以下「アクションプラン」という。）としてとりまとめたところである。

アクションプランの策定により、取り組むべき内容を検討する段階から、取り組みを着実に実施し、広域避難を実現していく段階に移行したことから、はん濫域にある3市町村（津島市、蟹江町、飛島村）を新たに加え、8市町村による広域避難実現に向けた組織「木曾三川下流部 広域避難実現プロジェクト」を設立し、3市町村拡大に伴うアクションプラン等の拡充を図るとともに、各市町村による取り組みの発信や、市町村の枠を越え地域全体で検討すべき内容に関する意見交換を行うことで、地域社会における社会的気運の醸成を図りつつ、適時・的確な広域避難誘導の実現に向けた計画を策定していくものである。